



いわき けんじ
岩 脇 圭 一

いっしんかい
一 津 会

次期津市総合計画の策定状況と今後の流れは

問 津市の今後10年間における市政運営の基本方針となる次期総合計画の策定が平成29年度中に行われるが、現在の検討状況は。オープンディスカッションも行われたが市民の意見をどのように集約し取り入れていくのか。次世代を担う中高生など若い世代の声もぜひ聞いていただきたい。また、策定過程を含め、総合計画をどのように情報発信し、市民への周知を図るのか。

答 次期総合計画は広く市民から意見を伺い、市内の関係団体の代表や学生などで構成する津市総合計画審議会での審議を踏まえて策定を進めることにしている。現在、これまでの3回の審議会の審議内容や市民からの意見を踏まえ、基本計画の試案の作成を進めている。市民の皆様からいただいた意見は、審議会と情報共有しながら、計画の策定を進めるとともに、庁内においても具体的に取り組む際の参考としたいと考えている。今後においても、パブリックコメントなどでいただく市民の皆様からの思いや願いをしっかりと受け止めながら策定を進めていく。情報発信については、広報津や市長の定例記者会見、ホームページに加え、新しい情報発信の手段も検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 公共施設等総合管理計画
 - 全庁的な推進体制の構築
 - 公民連携基本指針の策定は
- 公民館における地域の人材を育てる学習センター機能・地域コミュニティ機能とは
- 骨髄バンクドナー登録推進
 - 市民への普及啓発の取組は
 - 津市骨髄移植ドナー支援事業の利用状況は
- 子ども読書活動の推進 など



▲2月19日に開催されたオープンディスカッションの様子



むら た あき ひさ
村 田 彰 久

しみん
市民クラブ

美杉地域にアスレチック施設を誘致しては

問 福井県の池田町にはアスレチック施設がある。山の中に作られ、そこにある杉林を活用し、高さ10mほどの所にあるロープで吊るされた板を渡って行くものや、尾根から尾根へワイヤーが張られ、器具を付けて森の上を鳥のように飛んでいくメガジップライン等、多くのアクティビティーが用意されている。このような体験型施設を誘致できればと思うがどうか。

答 木をテーマにした当該施設については、町が一生懸命PRをしている。美杉地域に誘致することで、地元の活力につながれば、良いことだと思うが、同様の事業を実施している他市町村の事例を調査するとともに、美杉地域への入込客の状況等を踏まえ、研究を進めていく。

●その他の質疑・質問●

- 報告第12号および第13号 専決処分の報告について
- 職員研修について
- 津市をPRする受け入れ体制は



▲集客効果が期待できるアスレチック施設の誘致を

